
EBS 施工要領書

(コテ・ローラー・吹付け共用)



jyukankyo-innovation

株式会社 住環境イノベーション

〒631-0833 奈良市西大寺野神町 1-6-31-101

TEL : 0742-81-8100 FAX : 0742-81-8101

<http://jk-innovation.jp>

施工要領書

EBS は、左官および塗装用の内装下地シートです。

施工方法は、通常のクロス貼りと基本的に同じです。施工に使用するパテや接着剤なども、壁紙やクロスと同じです。

EBS には、ザラザラ面とツルツル面があります。**ツルツル面**に塗材を塗ってください。

準備

- 下地の汚れやホコリなどは取り除いてください。
- 石膏ボードなどの継ぎ目の部分には、パテ処理を施してください。
ビス止め部分も、すべてパテ処理を施してください。
(下塗りと仕上げの2回パテ処理をしてください。)
パテ処理の際、ビスや釘には錆止めを塗るか、ステンレス製のものを使用してください。
また、パテが完全に乾いた後、パテ用ペーパーで平滑にしてください。

施工

石膏ボードなどの下地材に EBS を、全面むらなく貼り付けてください。

入隅部

- 入隅部は、回し貼りにしてください。**

出隅部

- 出隅部は、回し貼りにしてください。**

ジョイント部

- EBS のジョイント部を 重ね合わせ、カッターなどでカットする場合は、下地を切らないよう「PP 下敷きテープ」を使用してください。
また、ジョイント部は、目地用ローラーでよく押さえて、ジョイント部の接着力を高めてください。
- コテ仕上げの場合、塗り厚が 2mm 以下の薄塗りの場合は、上記のように重ね切りをお薦めしますが、厚塗りの場合は、突き付けでも構いません。また、突き付け箇所は、目地用ローラーでよく押さえて、ジョイント部の接着力を高めてください。
 - * 但し、強アルカリの上塗り材(漆喰など)を塗られる場合、石膏ボード中の石膏までカットしてしまうと、石膏が化学反応を起こし、上塗り材が侵されることがあります。念のため、下敷きなどを当てて、ジョイント部をカットしてください。
 - * ジョイント後、EBS の上に糊が付着した場合、ビニールクロスのように、水を含んだスポンジで何度も擦らないでください。スポンジは固く絞り、サッと拭くだけで構いません。

平面部

- EBS のジョイント部は、下地石膏ボードなどの継ぎ目やパテ処理部と重ならないよう、10cm 以上離してください。
- 全体の圧着には、クロス専用のハケベラを使用し、最後にスムーザーを使い、絶対に空気が残らないようにしてください。空気が残ったまま塗材を施工すると、後にひび割れや膨らみのクレームの原因となります。
- 真壁の場合は特に、経年後、チリ際がすいたり、EBS が反らないようにチリ際や端部はしっかりと糊をつけて、ローラーなどで押さえ、接着力を高めてください。(EBS 施工後に、ボンドコークを入れておくのも効果的です。) * 枠廻り、廻り縁、巾木なども同様です。

注意事項

- 貼り付け時に空気や塵などが入らないように注意してください。
- パテ部分を平滑にして、粉も完全に除去してください。
- 糊を希釈するときは、クロスを貼る場合より、2割程度濃い目にしてください。

-
- 糊は糊付機を使い、クロスを貼る場合より、多めにつけてください。特に、端部は注意してください。
 - 糊付け後のオープンタイムは、夏場 5 分、冬場 10 分程度を目安として現場状況に合わせて調整してください。
 - 糊の付け置きは、一度にあまり多くしないでください。
 - 下地がモルタル、珪カル板、コンパネなどの場合は、適切なシーラー(アク止めシーラーとシーラーバインダー等)を塗布してください。
 - 貼り付け後、中 1 日程度養生期間をもうけ、糊が完全に乾いたこと、また、空気の入っている箇所がないかを確認後、仕上げ材を上塗りしてください。
 - リフォーム工事の場合、既設のビニールクロスを剥がすと、クロスの裏紙が残ることがあります。石膏ボードなどの下地にしっかりと付着している裏紙はそのままでもいいですが、ペラペラと剥がれかけの裏紙や、空気が入っている箇所の裏紙は、すべてきれいに剥がしてください。

接着剤

- デンプン系水溶性接着剤
- ルーアマイルド、ウォールボンド 100(ゼロホルマリン)など

下地調整補助材

推奨

- プライマー・シーラー：ボクリーンシーラー(ダイニック(株))
- アク止めシーラー：シーラー100 プラス(ヤヨイ化学工業(株))